

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	14
	令和	2年 2月19日
	午前・午後	2時13分

議会名	令和2年 第1回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 16番	鈴木 靖宏	
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. (仮称)有償復旧復興ボランティア登録制度創設について (1) 資格を持つ個人事業主や小規模事業所等が登録し、有事の際に有償で災害復旧に従事できる制度の創設について	① 復旧工事等は、入札参加資格申請した事業者のみ。今回の災害における復旧工事は大規模災害に集中し、中規模・小規模(重機類を必要とするもの)の災害復旧が遅れた。簡単な登録制度に登録して、有資格者による有償(実費弁償)ボランティア制度を提案するが、当局の考え方を伺いたい。		
2. 市内排水機場について (1) 排水機場の管理者について	① 各排水機場の管理者について確認したい。		
(2) 排水機場の管理者との連携について	① 今回の水災時における各排水機場管理者との連携はどのように実施されたのか伺いたい。 ② 各排水機場の運転状況の把握はどのように実施されたのか伺いたい。		
(3) 界排水機場と三杉川排水機場の連携について	① 過去の連携について伺いたい。 ② どのような連携を実施されていれば、三杉川下流域において越水を防ぐことができたか伺いたい。		

<p>(4) 三杉川排水機場の機能強化について</p>	<p>① 関東東北豪雨時の被災で堤防が洗掘されて、ブロックマット敷設復旧強化工事が実施された。今回の、台風第19号で越水被害が発生したが、堤防被害は最小限に抑えられた。しかし、三杉川排水機場の機能が強化されていれば越水は防げたと考える。今後の当該排水機場の機能強化をどの様に考えているのか伺いたい。</p>
<p>3. 防災協力農地制度について</p> <p>(1) 防災協力農地登録制度導入について</p>	<p>① 農地を防災面で活用することで、農地の重要性を理解し、農地の保全を図り、災害時には市民の安全の確保・復旧活動を円滑に進めるための避難空間・仮設住宅建設用地及び復旧用資材置き場等として使用できる農地を登録する制度です。佐野市も防災協力農地登録制度を導入すべきと考えるが、当局の考え方を伺いたい。</p>
<p>4. 気象警報・注意報について</p> <p>(1) 気象警報・注意報の発表区分について</p>	<p>① 日光市は、面積が広く地域によって気象の特性が大きく異なるため、気象警報・注意報の発表区分を、市単位から市内5地域に変更する方針。佐野市も北部・南部を分割して気象警報・注意報発表区分変更の働きかけをしてはどうか当局の考え方を伺いたい。</p>